



大國舞／栗野薫氏



show time 坂口貴洋氏

# 姉天連体で大賑わいの 115回土別まつり

した。殊に駐輿所では初めて大國舞が奉納され小餅や菓子撒かれ人気を呼びました。  
土別翔雲高・土中・南中・土別幼稚園の音楽行進に続いてお稚児さん・ジャランボー・子供花みこし・乙女舞・つくも太鼓が続ぎ、別順路で4基の子供樽みこしが巡り、33回中央通歩行者天国お祭り広場は多彩な催しを繰り広げ、柔道・剣道・子供相撲、14日は弓道大会、3日間市民文化センターで各種展示会や茶会が開かれ、露店街も終日賑わっていました。

## 第41回お祭り写真コンテスト

報道関係者に応募57点の審査を頂き、8月17・27日、市生涯学習センターいぶきで写真展を開催しました。ご協力ご応募に感謝申し上げます。  
金賞 気合いをこめて 中 健一様  
銀賞 出番前 中原和俊様  
銀賞 一休み 宍戸俊夫様  
銅賞 子供ずもう 市川君子様  
銅賞 ヒョーシギ 栗野 薫様  
銅賞 お願ひ当って 榎原節子様  
入選 仲よくしてね 鈴木 容様  
入選 二代目 栗野 薫様  
入選 神餅切り 佐藤三枝子様  
入選 巫女を待ちますように 水村光恵様  
佳作 さあ撤くぞー 佐藤正敏様  
佳作 響きに頷きながら 中津川邦夫様

## まじゅうろ

◆平成25年祭典委員会 小林一男委員長は記念に色のぼり10本・神幸用五色旗10本(312, 375円)をご奉納。  
◆小林一男氏は祭典委員長奉仕記念に、ワイヤレス放送機器一式をご奉納。  
◆奈良県佐藤隆士よし子氏は古稀記念に金10万円をご奉納。  
◆鷲見整骨院鷲見房江・謙一氏は先代鷲見卓雄院長の遺志として金10万円をご奉納。  
◆平成18年祭典委員長菅原剛顧問総代は大のぼり一对を再奉納、新年より揚げます。  
◆京都市相原満・札幌市上中保・同三分一正記・大阪府高柳章・埼玉県佐藤允克・堺市岩見明次・兵庫県佐藤慈宏・札幌市齊藤和子・同齊藤利朗・同原井日出雄・同花松咲子・同田中シヅ・同遠藤寿・同佐藤育子・函館市佐藤実の各氏ほか篤志ご奉納を賜りました。  
◆坪田公義、岡崎達、佐藤元保、安田産業株式会社各氏より餅米1俵、金井恵美子氏より各祭典に鏡餅をご奉納。  
◆6月29日土別スポーツ少年団と九十九山を守る会は境内ゴミ拾い、7月7日(株)田中工業田中勝則社長関係家族50人は社殿内玉垣他草取清掃9年目のご奉仕。7月8日土



◆お白石の内宮前/寺島栄一氏撮影  
◆20年に一度、神宮式年遷宮の年お白石持行事に当社は内宮40人が認可され、8月8日から11日迄、奉献団を組織、真新しい新宮にお白石を奉献する貴重な体験に感激一入、世界遺産白川郷やトヨタ博物館を鑑賞して帰りました。  
10月には新殿にご遷宮、11月5日から9日の日程で神社庁上川支部参宮団にも土別から21人参加、

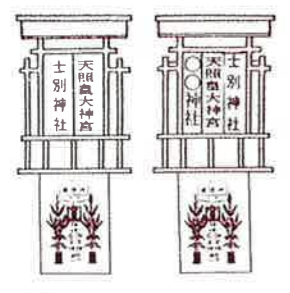
両宮と60年ぶりご遷宮成った出雲大社、世界遺産宮島の厳島神社等を参拝、感銘深い旅となりました。  
◆土別神社と土別弓道会主催第35回大幹杯弓道大会は9月29日道北道東一円から82人参加、土別神社弓道場で開催されました。(敬称略)

## 新しいおふだをまつりつてお正月を

もの皆あらたまる新年を迎える前に、しめなわを新しくし、神棚をお掃除して、新しいおふだをお祀りしましょう。  
神棚には、天照皇大神宮と土別神社の2体を合せおまつりするの正しい祀り方です。

## 天照皇大神宮

## 土別神社



生活や職業上の神様、各社の御神札も合せてお祀りしてよろしいです。  
歳徳様(としがみさま)は正中中、神棚や床間など清浄な所に張ってお祀りします。古いおふだがいっぱいになりましたら神社へお持ち下さればお納めいたします。  
喪のあつた場合も、新しいおふだはお受けし、鏡もちなどもお供えます。  
家庭や職場に中心となる神棚を祀るのは民族の美風です。新家庭や未だお祀りしていない方もぜひお祀りしましょう。神仏を拝み良い手本を示すことで、子供も見習って心豊かに生長します。お正月は家庭教育の大事な機会としても受け継がれてきたのです。

少年①辻本桃伽/土別翔雲高②吉越優来/同③山口舜矢/同  
二段以下①西道明美/旭川②高須雅美/旭川③会田好美/土別  
三・四段①梅田淳二/土別②竹内良太/同③正端梅太郎/上富良野  
五段以上①大橋輝彰/遠軽②奥山

眞理子/旭川③東哲夫/美瑛  
最高的中賞 大橋輝彰/遠軽  
金の賞 会田拓海/土別翔雲高  
◆北海道神社庁54回関係者大会は10月30日苫小牧市で開催、当市から25人参加、二氏が神社庁長表彰に輝きました。  
工藤照和様 総代会監事勤続功労  
西田悦朗様 総代会理事勤続功労  
◆上川管内43回神社関係者大会は10月18日神楽神社当番で旭川市で開催、当社から24人参加、四氏が支部長表彰を受章されました。  
株式会社田中工業様 篤信功労  
松岡義輝様 篤信功労  
庄司彰子様 総代会勤続功労  
渡辺 仁様 総代会勤続功労  
◆全国敬神婦人連合会65周年に当り、木川郁子様・佐藤すま子様は全国記念表彰を受章されました。  
高井聖子様は平成25年度敬神婦人全道会長表彰を受章されました。  
◆土別小学校3年生42人を先生が引率遠足で来訪、リスや小鳥、蝶も見つけ楽しかった様子を可愛い封筒を使って、また行きたいですと全員から感謝の手紙をいただきました。

◆岩見沢緑陵高サッカー部合宿、当社で高体連弓道新人戦、豊稜の新嘗祭。各種奉仕の総代会・九十九山を守る会・敬神婦人会・縄奉納会合同表彰祝賀会。間もなく午年、お揃いで躍動の年を!!



▲当社絵馬 (竹内國泰氏画)

平成26年、干支は甲午、60干支の31番目に当ります。  
甲は十干の1番目、物事のはじまり、草木が春、穀を破り芽生えるさまを表します。  
午は十二支の7番目、南の方角で夏、時刻は正午を中心午前午後二時間。杵の古形で、午の音が伍に近いことから伍なま群居する動物馬を当てたといわれます。

北海道開拓の当初、明治初めから洋式器具が導入され、馬の果した役割は多大了。  
土別では開基の明治32年、屯田兵名越源五郎中隊長の乗馬を事始めとし、34年から農耕に馬が使われ、37年には草競馬も始まっています。  
大正時代には大通りを馬鉄が走り朝日まで開通、また馬車、冬は馬橋、道無き所は馬の背に荷を乗せる駄馬、駄鞍、動力など多方面で用いられてきました。

馬は五千年ほど前、中央アジアで家畜化されて以来、輸送・軍事・農耕・食用・皮革から競馬に至るまで世界的に用いられ、人間の暮らしに広く貢献してきました。  
わが国では4世紀、古墳から飾馬の埴輪が出土され、古代から道路の要所に人と馬を常備する駅が設けられていきます。武家時代の騎馬の活躍談はよく知られる所です。

八十年前3771戸で5542頭も飼育され、車社会、機械化産業到来までの主役でした。馬糞マチ、土別も今は14戸で農用33頭、ポニー52頭(土別市経済部調)と激減し、めったに見られませんが、馬は神様のお乗物として神馬を献じ、絵馬を奉納、お守りとして授与もされています。  
土別神社には昭和14年、東山神社が合祀、相馬大神も奉斎。市内に馬を慰霊する馬頭碑が14ヶ所あります。  
天にも昇る勢いで躍動する馬の如く、良い新年を招きたいものです。(公)